

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公開番号】特開2006-189109(P2006-189109A)

【公開日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【年通号数】公開・登録公報2006-028

【出願番号】特願2005-2029(P2005-2029)

【国際特許分類】

F 1 6 K 31/06 (2006.01)

【F I】

F 1 6 K 31/06 3 0 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月25日(2007.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

端部が開口する大径部と有底の小径部を有する弁本体と、弁本体の大径部の開口部を封止する弁座部材と、弁座部材の弁シートを開閉する弁部を有する弁棒と、弁本体の小径部の内側に固定される吸引子と、吸引子を貫通する弁棒に一体に取付けられるブランジャと、吸引子とブランジャの間に配設されてブランジャを吸引子から引き離す方向に付勢するスプリングと、弁本体の外側に嵌装されてストッパ部材により固定されるコイルユニットを備える通電時閉型電磁弁であって、

コイルユニットは、ボビンに巻いた電磁コイルを金型内で樹脂と一体にモールドしたコイルモールドと、コイルモールドを収容する金属製のハウジングとを備え、

ハウジングは、プレス加工されてストッパ部材が固着される突部を有する電磁弁。

【請求項 2】

前記突部は、前記ハウジングの上面から上方に向けて突出した有底筒状のもので、その底壁に凹部が設けられるとともに該凹部の周囲にプレス加工を施してカシメ部を形成することにより前記ストッパ部材を固定することを特徴とする請求項 1 記載の電磁弁。